

給するため、良好な施設管理に努めるとともに、老朽化している水道施設の改修について検討を進めます。

また、平成29年度から公営企業会計に移行したところであり、経営戦略の策定を早期に行い、円滑で効率的な事業運営、計画的な整備の推進により、水道事業会計の健全化に努めます。

【生活排水処理施設の整備】
町の汚水処理施設の普及率は、年々増加しているものの県平均を下回っていることから、農業集落排水施設への接続や合併処理浄化槽の普及を促進し、生活環境の向上と生活排水による環境負荷の軽減に努めます。

また、農業集落排水施設は、供用開始から20年が経過し、施設の老朽化が進行していることから、施設の長寿命化に向けた機能診断を行い、施設の適正管理に努めます。

【主な事業】
▽水洗化普及支援事業
▽町整備型浄化槽整備推進事業

【環境衛生の充実】
全世帯に取り組みが浸透したごみの分別細分化を継続し、リサイクルの推進、ごみの減量化に努めるとともに、老朽化した処理施設の延命化を図ります。

【道路交通網の整備】

住民生活や経済・社会活動に欠くことのできない幹線道路網および生活関連道路網について、整備の促進や維持管理体制の充実を図り、利便性、安全性、快適性の向上に努めます。

特に、国道や県道などの幹線道路の改良整備のほか、平成30年10月に関係市町村で設立した「北岩手・北三陸横断道路」の整備促進期成同盟会の取り組みを推進し、県北地域を横断する自動車専用道路の早期整備を関係機関に対し、強く働きかけます。

【主な事業】
▽町道茶屋場田子線道路改良事業
▽道路・橋りょう長寿命化修繕事業

【生活交通対策の推進】
高齢化の進行に伴い、生活バス路線の重要性が、今後、さらに増してくることから、

施策 自然と共生し地域の豊かな資源を活用するまちづくり

【自然環境の保全と土地の活用】
町の財産である豊かな自然環境を後世に引き継いでいく

バス路線の維持確保に努めるとともに、利便性の高い運行体制の構築や利用促進の取り組みを進めます。

【主な事業】
▽広域生活バス路線運行維持対策事業
▽バス路線運行拡大支援対策事業

【地域情報化の推進】
平成20年度以降に情報格差解消などを目的に整備を行った情報通信設備類が、更新時期を迎えていることから、計画的な維持管理に努め、効率的・効果的な行政サービスの提供手段としての運用に努めます。

また、多様化する行政サービスのニーズに対応するため、情報通信技術を有効活用するための方策を検討し、住民サービスの充実を図ります。

【主な事業】
▽情報配信システム「ライフビジョン」の活用

ために、自然環境の保護・保全に努めるとともに、環境教育に積極的に取り組み「町民みんなで守り育てる」意識の

高揚に努めます。

また、農業委員会においては、必須業務に位置付けられた「農地等の利用の最適化の推進」を農業委員、農地利用最適化推進委員が連携して、農地の利用状況と利用意向調査を一体的に実施するなど、積極的に取り組みます。

【主な事業】
▽担い手への農地利用の集積・集約化
▽遊休農地の発生防止・解消

施策 こころ穏やかに安心安全に暮らせる地域社会づくり

【防災対策・消防・救急体制の充実】
複雑多様化する災害に対し、迅速かつ的確に対処し、効果的・効果的な活動ができるよう消防防災施設や安全装備品の充実強化を図るとともに、地域に即した消防団編成を踏まえた団員確保に努めます。

【主な事業】
▽消防用備品整備事業
▽安全装備品整備事業
▽超高密度気象観測・情報提供サービス

【交通安全・防犯・青少年問題対策の充実】
高齢化、国際化、車社会に



教育行政方針



鈴木町長の施政方針演述に続き、教育を通じて子どもたちの可能性を引き出し、町民一人ひとりが生活に潤いと生きがいを感じてもらうための施策として、吉田信一教育長が教育行政方針を述べました。

子どもを安心して産み育てられる子育て支援

就学前教育の在り方検討委員会での検討結果などを踏まえ、時代の変化と多様な保育ニーズに対応し、就学前教育の充実、児童福祉施設と小学校との連携強化を図ります。

【主な事業】
▽保・小接続プログラムの実施
▽保育環境整備事業
▽保育施設再整備調査業務
▽学び輝く人づくりと町を愛する人材育成

【教育の充実】
小・中学校における新学習指導要領への移行期間のため、学校運営、授業づくりの在り方に係る教職員の研修機会の確保に努め、完全実施に向けた準備を進めます。

また、国が進める学校における働き方改革や部活動指導の在り方について検討を進め、

児童生徒に向き合える時間の確保や効果的な教育活動ができる環境づくりを進めます。さらには、連携型中高一貫教育の充実を図るほか、保・小・中・高の4校種連携の強化と、国際理解・情報・キャリア教育の充実を図り、一貫した学力向上と学習指導の充実に努めます。

併せて、江川中学校校舎改修事業をはじめとする教育施設環境の充実に取り組みます。高校の魅力づくりについては、葛巻高校の2学級維持、存続に向け、新たに設置する山村留学生寄宿舎を活用した「くずまき山村留学事業」の充実・推進と公営学習塾による学習レベルの向上などを図り、誰もが教育を受けることができる機会の確保に努めます。

【生涯学習の充実と文化の継承】
誰もが生きがいを持って心

豊かに健康な生活が送れるよう、自ら進んで幅広く学習できる生涯学習の充実がますます重要視されています。こうしたことから各世代別・目的別に応じた学びの機会を提供するとともに、学習の成果を社会貢献や地域課題の解決につなげる取り組みを支援し、まちづくりを担う人材の育成に努めます。

【青少年教育】
学校・家庭・地域社会が連携して子どもを育む体制づくりをより一層推進するために町青少年育成ネットワーク事業を充実させて関係者の連携強化に努めます。

【文化の継承】
自主的な文化活動や地区文化祭の開催などを支援するとともに、より優れた芸術に触れる機会の提供に努めます。また、町内に残る歴史的文化財や伝統芸能などを次の世

代に確実に引き継ぐために、民俗資料などの適正な保存・管理に努めるとともに、郷土芸能の担い手の発掘と育成、記録保存に取り組みます。

【主な事業】
▽町民まなびい学園、生涯学習フェスティバル
▽成人式、40歳・60歳のつどい
▽子どもの未来を考える町民のつどい

【生涯スポーツの推進】
スポーツは、個々の健康増進と体力向上を通じて日常生活に潤いや活力を与えるだけでなく、人と人あるいは地域と地域の交流を促進し、地域の一体感を醸成するものであり、地域コミュニティの再生に大きく寄与します。

町民誰もが、それぞれの関心や適性に応じて、安全な環境のもとでスポーツやレクリエーションに取り組むことができるよう、日常的にスポーツに親しめる機会や環境を充実させるとともに、競技スポーツについては、トップアスリートや指導者から直接的に指導が受けられる機会を創出します。

また、スポーツ施設と宿泊施設を有効に活用したスポーツ合宿や各種スポーツ大会の誘致・開催などを通じて「ス



校舎の改修が予定されている江川中学校